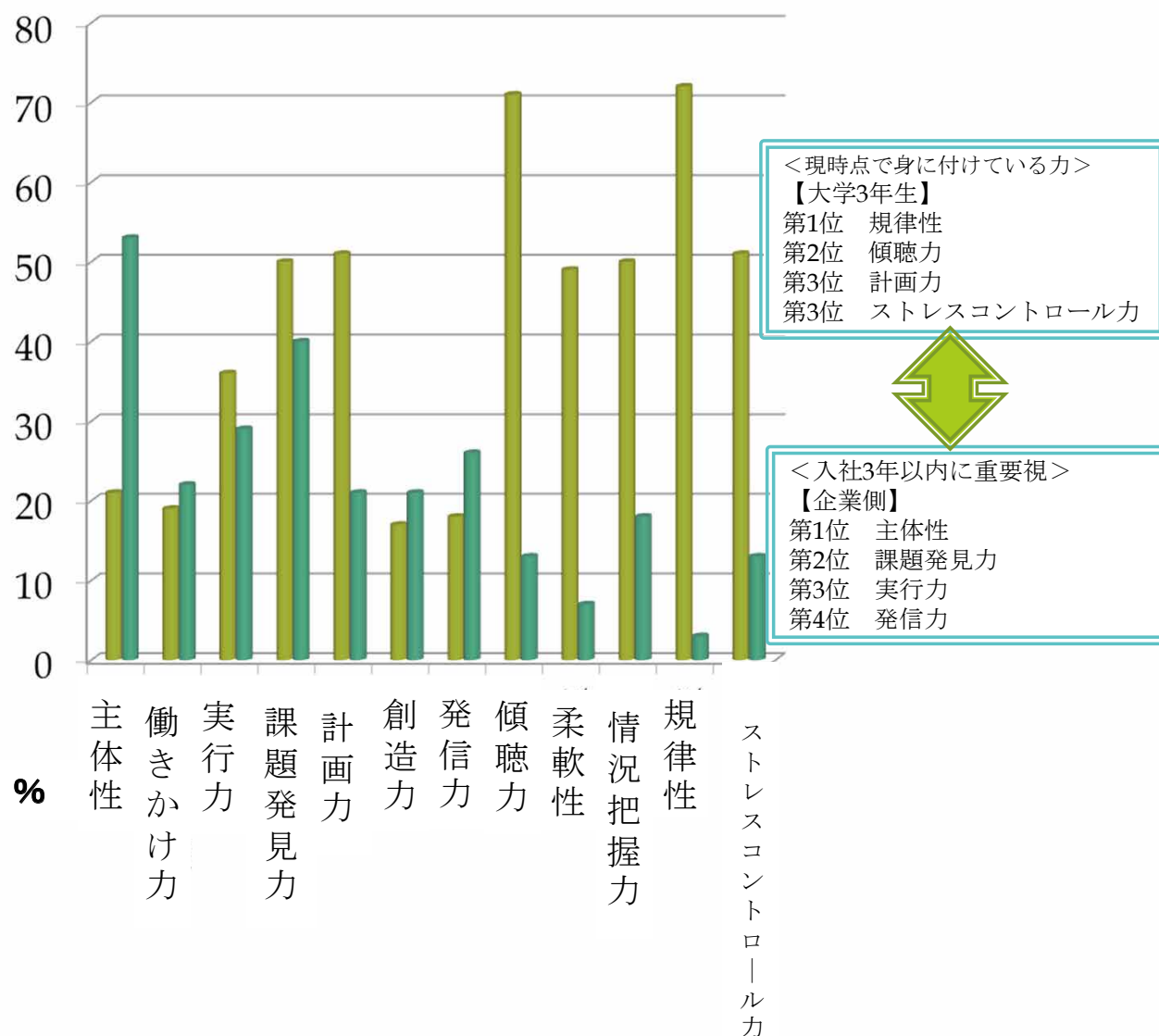


11. 社会人基礎力12能力要素の重要視の比較（学生 VS 企業人事担当者）＜入社3年以内＞

平成26年度調査における、学生と企業の考え方の調査結果の比較 その2
 「入社3年以内に、企業がより重要視する力 VS 学生が現時点で身に付けていると考える力」



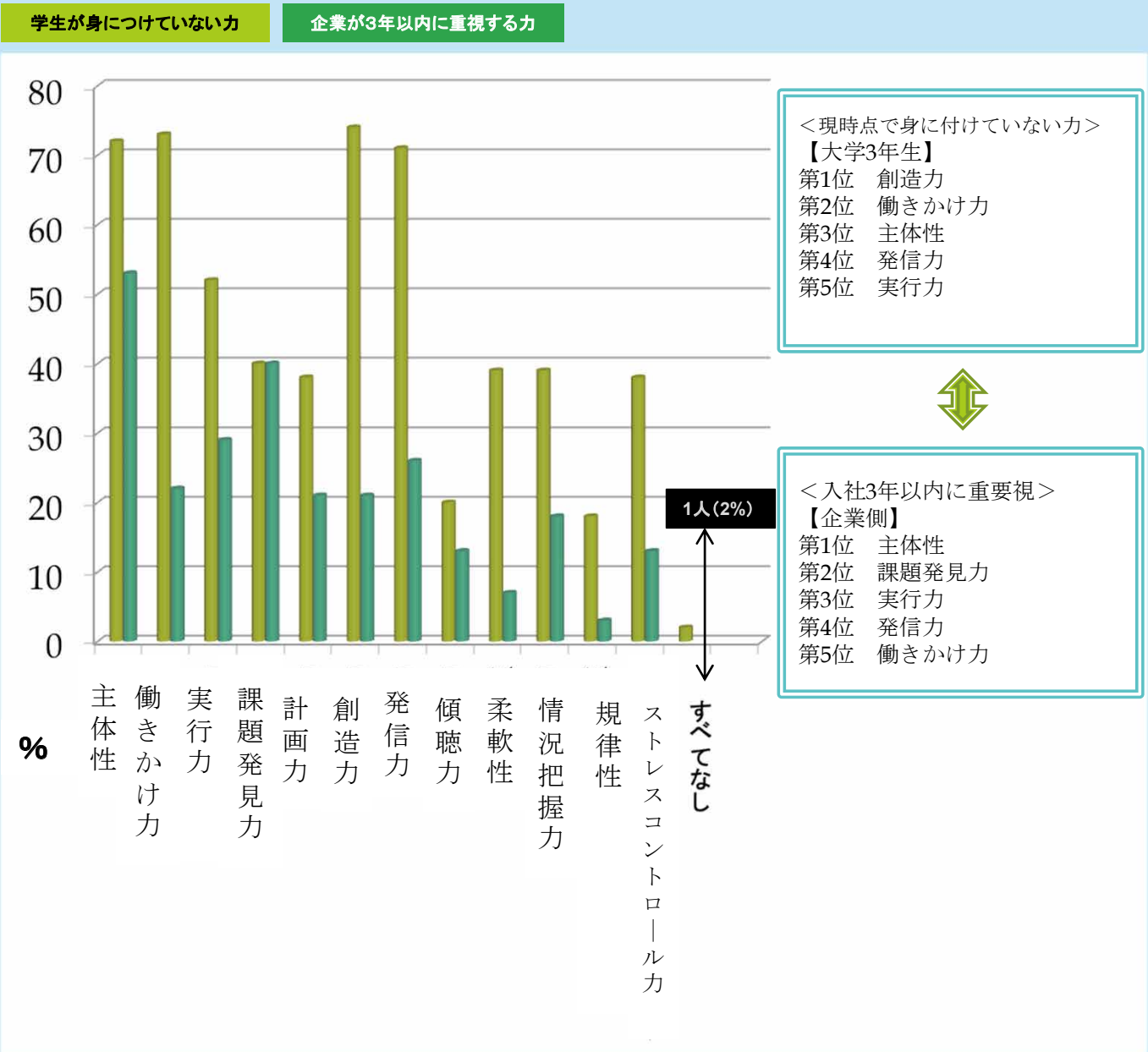
●企業は新卒入社後3年間以内に身に付けておくべき社会人基礎力として「主体性」、「課題発見力」、「実行力」、「発信力」の順番で重視しており、その全ての要素が比較的、能動的・積極的な力がほとんどである。

それに対して、学生が現時点で身に付けている能力・強みの質問では、「規律性」、「傾聴力」、「計画力」、「ストレスコントロール力」といったように、どちらかといると受け身の要素が多い。入社後3年以内には、積極的な要素を求める企業側とのギャップをどう埋めていくかが課題であることが理解できる。

12. 社会人基礎力12能力要素の重要視の比較（学生 VS 企業人事担当者）＜入社3年以内＞

平成26年度調査における、学生と企業の考え方の調査結果の比較 その3

「入社3年以内に、企業がより重要視する力 VS 学生が現時点で身に付けていないと考える力」



● 前述のとおり、企業は新卒入社後3年間以内に身に付けておくべき社会人基礎力として「主体性」、「課題発見力」、「実行力」、「発信力」、「働きかけ力」の順番で重視しているが、別の質問での「学生が現時点で身に付けていないと考える力」を問うたところ、身に付けていない力の順位は、第1位「創造力」、第2位「働きかけ力」、第3位「主体性」、第4位が「発信力」、第5位が「実行力」となっており、「主体性」、「働きかけ力」、「発信力」、「実行力」の能動的要素の養成が課題であることがわかった。

13. (平成26年10月1日)学生へのアンケート調査①

「あなたにとって仕事とはどのようなものだとお考えですか？」(自由記載)その1

- 「生活を安定させるための手段。」
- 「人生において重要であり、多くの時間を占めるもの。夢。」
- 「お金儲け。大変。」
- 「自分のこれからに関わる最も大きな部分。」
- 「自由に働ける仕事に就くと給料が少なく、我慢して働いて初めて給料が多くもらえる。」
- 「自分が成長するための機会、生きていくために必要な（お金を稼ぐ）もの。」
- 「社会に役立つための手段であり、人生を充実させるもの。」
- 「生きがいや自分を試すことのできる場。」
- 「今までの人生と違って、責任が重要なもの。」
- 「生きていく上で、社会の歯車になるための一要素。」
- 「生きる力。」
- 「人生を楽しくするもの。」
- 「社会や世界との関わりの中での、存在意義を見出す場所。」
- 「仕事をするという経験が少なく、よくわかりません。しかし、毎日が楽しいと思える要因であってほしいと思います。」
- 「休日の酒を美味しくする。」
- 「生きる中で心が満ちるのは、人に認められたり必要とされるときだと思っています。そのように人の役に立つには、賃金のあるなしに関わらず、働くときだと思うので、働くことを仕事と呼ぶなら、仕事は生きがいだと思います。なので、無償の家事なども仕事であって、生きがいにもなるのかなと考えています。」
- 「人として成長するために必要な能力を鍛える場。好きなこと、やりたいことをやるためにするもの。お金を得るためのもの。」

13. (平成26年10月1日)学生へのアンケート調査②

「あなたにとって仕事とはどのようなものだとお考えですか？」(自由記載)その2

- 「充実感を得るため。」
- 「自分の才能を発揮する場。」
- 「最低限生きていく上で必要なものであるが、この長い人生の大半を占めるので、好きになれたら良いなと思うもの。」
- 「人生。」
- 「義務。お金を稼ぐために必要。人格形成。」
- 「これまで自分の生活を支えてくれた家族・親族に恩返しをするためのお金を稼ぐ場所。」
- 「お金を稼ぐ手段であり、自分の希望する生き方を叶えるための人生の要素の一つ。」
- 「さらに自分を高め、人生を楽しむためのもの。」
- 「ずっと続けなければならないもの。できればやりたくない。」
- 「家庭以外に居場所を見つけられるところ。」
- 「これまで得た知識や経験を活かし、社会に貢献するもの。」
- 「自分を保つもの。」
- 「自分が一番楽しく輝ける時間。」
- 「誰かのために頑張ること。自分を必要としている場所に居ること。」
- 「単純でなければ、面白いもの。」
- 「親から自立して生きていくために必要なもの。」
- 「仕事以外のやりたいことをするための資金源。」
- 「興味のある仕事、ない仕事に関係なく、何かしら自分が成長できるもの。」



アンケートにご協力いただいた企業の生の声 平成27年度版

サービス系	社会人基礎力の中の「前に踏み出す力」が、ここ最近の新卒の人に一番欠けている様に思う。常に人の一步後ろに下がって、周りを見過ぎている様な気がする。何事にも、誰にでも失敗はあるので、そこを乗り越えていける力を学生時代に培ってほしい。
サービス系	1 2の要素は社会人にとって全て必要な力です。「課題発見力」や「計画力」、「発信力」などは身につけよう意識しなければ身につけません・入社から10年後、20年後に「どのような自分でありたいか」という目標を持つことで身につけるべき力が見えてきます。それができていないと、10年後、20年後に大きな差ができてしまいます。
製造系	グローバル社会に対応する能力が求められる様になっています。社会人基礎力のカテゴリーですと「柔軟性」が近いですが、当社としては、「受容性」という考えがよいと思っています。立場の異なる相手を認めつつ、自分の主張もできる人材が求められています。
製造系	企業としては、「この学生が入社後どのくらい伸びるのか」という点を非常に重視しています。伸びしろのある人は、「主体性」を持ち合わせており、業務を通じて「考え抜く力」がさらに養われていくものであると思います。
サービス系	「自ら考え行動する」、「相手を納得させ動かすことができる」人材に魅力を感じる、受動的になりがちな学生が多いので、自らの目標を持って積極的に動くことができる学生を採用したい。
金融系	社会人基礎力は新入社員・ベテラン社員に関わらず、全て同じ程度重要なものであると考えております。金融業界はほとんどが形のない商品を扱うビジネスになりますので「人との信頼関係」が必要不可欠な要素です。弊社の新入社員教育では、「信頼関係」をしっかり構築できる社員を養成するために社会人基礎力といた項目を日々の具体的行動に落とし込み自分の強みを伸ばし弱みを克服するための研修等を実施するようにしておりますが、とりわけ「弱み」として取り上げられる項目で多いのは「主体性（当時者意識を持ち、何事にも興味・関心を持って、できることは自ら進んで実行する）」、「課題発見力（目的を考え行動する）」です。「そもそも何のためなのか」を考え抜き、物事の本質を捉えて行動する」です。